

2006 Autumn VOL.51

アイの四季だより

小紙は春・夏・秋・冬と年四回新聞に折り込んで皆様のお手元へお届けしております。ご意見、ご要望などございましたらお聞かせいただければ幸甚でございます。

アイセモノー株式会社

相談室 飯網町大字普光寺969-1 (高野農機様となり)
営業本部 ☎026-253-1377 FAX253-1378
飯網ホール 飯網町大字黒川2415 ☎253-1377
五岳ホール 信濃町古間93 ☎251-7155

フリーダイヤル ☎0120-796-311

一歩進めて 思いを込めて



地元飯網町に名の知れたツチクラ住建は、昭和四八年に創業。土倉武幸さんはおやじ(会長)の跡目を継いで二代目となり、五年目を迎える。四〇代前半のぼりぼりの若くエネルギーギッシュな社長さん。PTA会長も勤めていて、男前だから、モテそう。(心配だナアー)

一般住宅づくりに加えて、リフォームの受注が多く、従業員一〇名ふる活動。お客さんの要望に応じてつくるだ



すてきな眼差しで見詰められると……

「これが大反響でした。都会での生活は危険で、家も高くて買えない持てない」からと。

建築業を営んでいると、地域の状態が良くわかる。空屋、中古住宅を活用して過疎化対策の一環としても貢献できればと、都会に広告を出した。「Uターン、アイターンに向けて。今こそ健康で安心な暮らしを！この豊かな自然の中で。ただし条件あり。手に職をお持ちで、定住を希望する方に限る」と。

「おしゃれた事務室、接客室」だけでなく、さらに「一歩進めて」、「思いを込めて」をテーマに、ツチクラ住建に頼んで良かったなど、嬉んでもらえる仕事をすること……土倉さんは熱っぽく語る。

その「好感度」が評判を呼んで、人から人へと紹介の輪が広がって、信頼性が高まり受注増の証となつて

① 近くであること
地元の専門業者であること。専門でない間接的経費がかさみます。また、大手は人件費が高つき、ス

賢い消費者になるために 葬儀社の選び方について

△全国消費者アンケート
調査のまとめより



エッ！撮るの？ 2階の私の仕事場は散らかっていて はずかしいヨ

(宅地建物取引主任者)
飯網町大字川上二二三七
でんわ二五三二二〇九
代表取締役 土倉武幸

これは人材募集の広告で、すでに実績が出て、さすが土倉さん。これからの村づくり町づくりは土倉さんのような若い人に委ねるべき。ついでにお伺いした。合併して一年目の飯網町。いかがですか？
「ただ大きくなっただけではダメで、それぞれの特徴を生かし融合させて、一十一を三に。これをチャンストとみて、新しいことを積極的に。何が出来るか、どう活動するか！を」と、なかなか手厳しい。

② 明瞭会計であること
見栄、親戚や近所の手前とかの感情が、冷静な判断力を失ってしまつため、打合せは複数で行うこと。見積書で確認し納得することが大切。この時、わからないところ

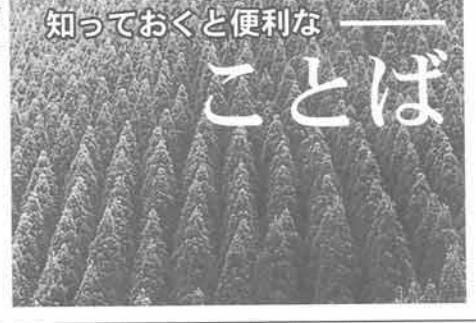
ケルメリットがありません。さらに、近ければ近いほど便利で安く、素早い対応で安心できます。

雑作もねえ！

職人はその卓越した技術と道具を使って、不可能を可能にするハンドワークである。
雑作(ぞうさく)「工事は、職人(大工さん)にとって、その最たるもので最も腕を発揮するところ。
「無雑作」とか「雑作ない」という日常の会話には、大工の雑作工事に眼をみはつた驚きの言葉が秘められている。
雑作を(ぞうさく)と呼んで、手間がかかること、厄介なこと全体の意味に発展して、今日に引きつがれているのである。

鯔背だねえ！

半鯔に股引、頭に手拭いきりりとして……という職人さん伝統のい



③ 評判を確かめておくこと
利用されたお宅で聞いておきます。費用やサービスの説明が丁寧だったか。
・安置室通夜室があつて、火葬だけでも気持ちよく親身に対応してくれ

は質問し、要らないものは要らないとはっきり言うことです。

税があがらねえ！

税(うだつ)は、妻側の梁(はり)の上を立てて棟木(むなぎ)を支える短い柱で、いつも押えつけられている。
卯建(うだち)は町屋で隣の堺につくった防火壁で、建築費がそうとう高つき、おいそれと上がらない。
また、堀井戸などの一番上に組む枠(わく)のことも「うだつ」といつてもたつても運が悪く、出世しない人のことを「税があがらぬ」という。
それでも税を上げようと日夜がんばるのが人の常というもの。

でたちは、おもわず「粹で、いなせだねえ」と一声もかかる。
そもそも、いなせという言葉は、江戸新吉原に毎晩のように「去なせとも無きその心から帰らしんせと惚れた情」と唄って歩いた新内語り

とろろで、女性はいつの世も、あなたのように、きつぷのいい鯔背な人が好きだから……もてすぎご用心。
「税があがらねえ！」
税(うだつ)は、妻側の梁(はり)の上を立てて棟木(むなぎ)を支える短い柱で、いつも押えつけられている。
卯建(うだち)は町屋で隣の堺につくった防火壁で、建築費がそうとう高つき、おいそれと上がらない。
また、堀井戸などの一番上に組む枠(わく)のことも「うだつ」といつてもたつても運が悪く、出世しない人のことを「税があがらぬ」という。
それでも税を上げようと日夜がんばるのが人の常というもの。

△参考にして下さい

シリーズ名刺をたずねて

檜と杉を ふんだんに使った 「庫裡」新築 完成

曹洞宗

龍洞山 松雲寺

飯綱町倉井



庫裡は寺院のお台所として、壇家さま、地域の皆さまの寄り処であり、住職家族の住居でもある大事な建物です。
一年がかりで本年八月に完成した松雲寺庫裡は、名産地の檜と杉を使った見事な木造建築です。
檜は建築用材としては最高といわれ、芳香があり、美しい光沢をもち、

土台、柱、梁など構造材や、敷居、かも居など造作材に使われており、杉もまたかすかな芳香があり、木理がまっすぐで、杢が美しく、柱、たるき、腰板材に使われています。
さらに、感激するところは大工さんのキメ細かな高級工芸品を思わせる仕上げが見られます。

「聖徳太子が創建した法隆寺は、世界最古の木造建築である。この先、一千年は持つと言われる檜をふんだんに使った建つ理由は「ここにあり」と、住職は言う。
「皆さまのお陰でこのように立派に出来上がった庫裡を、地域の皆さまにはより多く使って建物を活かしてもらいたい。」と住職はおっしゃっておられます。

二階からの眺望は、美しい日本の原風景の如く、のどかな三水村の田園風景が広がっています。
「四季それぞれの彩りが美しく楽しめますよ」と奥さま(坊守さま)



が目を輝かせています。
「住職は寺を守りつつ、高校の教師、教育委員等、公立で三六年、私立で六年、計四二年間、六六歳までお勤めされてきました。
たいへん教育に熱心で、「いや、寺の収入だけでは喰えねえからね」と、ご謙遜。

現在もなお地域の教育振興の活動に本堂を開放して「座禅」を子供を中心に大人も含めて励行。
「宗教の教を教育の一環として活動している」とのことです。
お歳を感じさせない、いつもこやかな住職は、教育者でもあるお人柄のせいでしょうね。



松雲寺は今から四百三十四年前、天正元年に本堂建立。室町時代から安土桃山時代に移り変わるころです。名刺中の古刹といわれる所以です。

- 松雲寺 年三回の大行事
- ☆四月 御懺法(おせんぼう) 罪、あやまちをさんげし、元気に生きるための法会
 - ☆八月 施餓鬼法要(せがき) 無縁仏のための供養
 - ☆十一月 虚空蔵菩薩祭 広大無辺な福德と智慧によって人々を救う菩薩の祭り
- 松雲寺第一九世住職 沖 大啓
飯綱町倉井二〇一
電話二五三二二八五

焼きたてに こだわって カフェレストラン 里山通信

飯綱町平出



お店の名前が「里山通信」？
何よ、それ！
マスター曰く、「里山とは、山奥ではなく、里(村)の近くのちよつと小高い麓のこと。この自然に恵まれた四季折々に咲く花など、インターネットで全国へ発信。楽しんでもらえたら。将来はね。この辺は山野草もたくさん生えているから。で、発信するから通信とね。」フーン

どこかの通信社かと思ったりしてでも、コーヒーとあるから、店名に興味津津。さらに、この小さくて可愛い看板がにこいね。ついふらふらと寄ってみたいくなる。この辺のところも、マスター(山口法昭さん)のロマンチックなこだわり。



二階 ミニギャラリー 無料で開放！
今年四月オープン。日がまだ浅い。奥さま(山口裕子さん)は陶芸をやっている、二階はミニギャラリーで、今は裕子さんの器作品展示中。
「皆さん趣味でやっている絵画、写真、陶器、工芸などの作品発表の場として、当ギャラリーを無料でお貸しします」と、大胆不敵というかサービス心、旺盛というか。



手づくりこだわって！
奥さまはパンも焼く、ケーキも焼く、そして器も焼く。まさに手づくりで、で、名前の肩書きは「焼きもの家」(陶芸家といわない)
だから当店のお料理は、すべて手づくりで、焼きたてにこだわります。
お料理を盛る器、おひやもガラスコップを使わず、奥さま手づくりの器を使う。(器は、焼きたてじゃないヨ。念のため)



▶旧北国街道福井団地入口三本松信号から長野方面へ向って約100m先の右側小路を昇る。可愛い看板あり
電話〇二六一二五三二五九三〇
定休日 第一土曜 毎日曜日

もしもの時 どうすればよいのか

飯綱町 49歳主婦 匿名

「近所で、遠い親戚などで、不幸のたびに会葬ご焼香に出掛けることが多い今日このごろ。
でも、他人ごとのように、アレ、この間までは元気だったのにねえ、と。ところが、私のところにも年老いたおばあちゃんが。万が一の場合、どうすればいいか、どんな手順を踏

めばいいか...考えたくもない！
といっても、義務であり責任をはたせなければならぬ。こんな気持ちで交差している。誰にも相談できることではない。縁起でもない！と言われることがオチ。
心構えなど含めて、内緒で教えてくれるかしら、御社なら。
(編集部文責)

当社では、もしもの時の心構えや手順について、詳しい葬儀費用などについての「事前ご相談」を承っております。
その時になって慌てないためにも、手落ちがないためにも、会葬者に「無礼がないように」。
一番大切なことは、気持ちを込めて、どのようにお見送りしたいかを確かめておくことです。さらに、見栄を張ってまで無駄と思われる費用を掛けないこともアドバイスいたしております。

先ずは気兼ねなくお電話を――